

## 福島大学国際交流センター

事業名	インタラクティブ(双方向)型インターンを用いた留学生就職支援プログラム						
実施期間	平成27年7月17日～平成28年1月13日						
場所	山水荘、向瀧旅館、(株)サンライト、(株)ラジオ福島、福島大学国際交流会館 ほか						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	48	0	0	20	11	0	79 名

### <実施内容>

本事業は、「地域の企業や社会が留学生を知り興味を持つこと」、「留学生が地域に愛着をもつこと」の2つのテーマに基づき、①留学生が温泉旅館でインターン実習を行う留学生双方向型インターン実習in土湯温泉、②留学生が地域企業の現場を見学する留学生企業見学バスツアー、③日本企業への就職を目指すにあたり、マナーや礼儀作法を学ぶ留学生就職セミナー、の3プログラムを実施した。



No.1 温泉旅館での出迎いの練習(留学生双方向型インターン実習in土湯温泉)



No.2 自動車部品製造現場見(留学生企業見学バスツアー)



No.3 就職活動についてのグループワーク(留学生就職セミナー)

### <参加者からのコメント>

魏旭旭(中国)/WEI XU XU

留学生双方向型インターン実習in土湯温泉に参加し、温泉旅館の様々な仕事を体験しました。その中で一番深い印象を持ったのは旅館のスタッフがお客様のためにする布団敷のサービスです。お客様がいらっしゃる間にそっと敷かれるのでお客様の目には、まるで魔法のように映ると思います。このようなおもてなしが、感謝の言葉となり、スタッフの方々の仕事への励みになっているのではと思います。我が家でくつろぐように配慮された快適さと、自然の癒しの力は温泉旅館の魅力でしょう。次に訪れるときは、父や母と庭園をのんびり散策し、和室でのんびり過ごしたり、或いは友と日本料理を食べお風呂でおしゃべりしたいという夢ができました。このような機会をまた作り、夢を実現させ訪れたいと思います。

チャン ドアン ハオ(ベトナム)/TRAN DOAN HAO

留学生双方向型インターン実習in土湯温泉に参加し、本当に楽しかったです。一番印象が強いのは土湯温泉の景色です。静かなところで、空気も綺麗であり、また、リラックスしたい時、湯の中で漂っている気分は最高でした。食事についても、和食は見た目も味も美味しく、また食べてみたいと思いました。2日目には、土湯温泉の伝統的な土湯こけしを作りました。記念の品なので今もずっと本棚にずっと飾っています。友達には面白いものだねと言われ、自分で作ったと言ったら、どんなふうにしたのかと興味深々に尋ねられました。いろいろと顔や胴体の模様などを説明したが、これは経験してみないとわからないと思います。とても貴重な経験をしました。